

名刺ファイリング *OCR*

ユーザーズガイド

はじめに



名刺ファイリング OCR は、スキャナから読み取った名刺の文字を認識して、名刺データベースを作成するためのソフトウェアです。

本書は、名刺ファイリング OCR の概要、画面、および機能について説明しています。

本書が、名刺ファイリング OCR を活用していただくために、皆様のお役に立つことを願っております。

2008 年	12 月	初版
--------	------	----

Microsoft、Windows、および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Excel および Outlook は、米国 Microsoft Corporation の製品です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。

Intel、Intel Core、および Pentium は、Intel Corporation の登録商標または商標です。

筆まめは、株式会社クレオの製品です。

Yahoo! JAPAN (<http://www.yahoo.co.jp/>) は、ヤフー株式会社が運営するインターネット上の総合情報サイトです。

QR コードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

ScanSnap および ScanSnap ロゴは、株式会社 PFU の日本における登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発 / 販売元

株式会社 PFU

〒212-8563 神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地（ソリッドスクエア東館）

TEL: 044-540-4538

All Rights Reserved, Copyright © PFU LIMITED 2008

Multilingual OCR by I.R.I.S.(Image Recognition Integrated Systems)

1997 Copyright by I.R.I.S., All rights reserved

The Proximity / Merriam Webster Linguibase

Copyright 1984 All rights reserved

Proximity Technology Inc.

Copyright 1984 All rights reserved

Merriam Webster Inc.

The Proximity / Merriam Webster Linguibase

Copyright 1984 All rights reserved

Proximity Technology Inc.

Copyright 1984 All rights reserved

Williams Collins Sons & Co. Ltd.

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

マニュアルの種類

名刺ファイリング OCR をご使用の際には、以下のマニュアルを必要に応じてお読みください。

マニュアル	説明	参照方法
ScanSnap スタートアップガイド	ScanSnap のインストール方法や接続方法について説明しています。	梱包箱に入っています。
ScanSnap オペレーターガイド	ScanSnap の基本的な操作、読み取り方法、設定方法、困ったときの対処方法、ScanSnap の取り扱い方について説明しています。	「スタート」メニュー→ 「すべてのプログラム」→ 「ScanSnap Manager」→ 「オペレーターガイド」 を順に選択してください。
名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド (本書)	製品を初めて使うときや、名刺ファイリング OCR の概要、特長、画面、動作環境、機能について知りたいときにお読みください。	「スタート」メニュー→ 「すべてのプログラム」→ 「名刺ファイリング OCR」→ 「ユーザーズガイド」 を順に選択してください。
名刺ファイリング OCR ヘルプ	製品の操作中（項目を入力するときなど）に分からないことがあったときにお読みください。 すべての操作手順、画面説明、メッセージについて説明しています。	ヘルプの起動方法については、「 付録 A ヘルプの起動方法 」(36 ページ) を参照してください。

■ 本書の読み方

本書の構成

本書は、以下のような構成になっています。

第1章 名刺ファイリング OCR について

名刺ファイリング OCR の概要、特長、動作環境、および起動 / 終了方法について説明しています。

第2章 操作画面

名刺ファイリング OCR の画面および各項目について説明しています。

第3章 操作のながれ

名刺ファイリング OCR の基本的な使い方について、起動から名刺の読み取り、データとして保存して利用するまでの一連の流れを説明しています。

第4章 機能一覧

名刺ファイリング OCR の機能について説明しています。

第5章 ユーザー権限について

名刺ファイリング OCR を使用する場合のユーザー権限について説明しています。



付録 A ヘルプの起動方法

名刺ファイリング OCR のヘルプの起動方法を説明しています。

名刺ファイリング OCR の機能を理解していただくために、第1章から第5章までを順番にお読みください。

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明文中に以下の記号を使用しています。

記号	説明
	特に注意が必要な事項が書かれています。 必ずお読みください。
	操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。

連続する操作の表記について

本文中の操作手順において、連続する操作手順を「→」でつなげて記述しています。
例：「スタート」メニュー→「マイコンピュータ」の順に選択します。

本書に掲載している画面について

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。
本書では、Windows Vista の画面を例として説明します。


お使いのオペレーティングシステムによって、表示される画面および操作が異なる場合があります。表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、実際の画面に従って操作してください。

本書での略記について

本書では、以下の用語について省略して記述しています。

Windows 2000	: Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows XP	: Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Windows Vista	: Microsoft® Windows Vista® Home Basic operating system 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Home Premium operating system 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Business operating system 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Enterprise operating system 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Ultimate operating system 日本語版
Windows	: Windows 2000、Windows XP、および Windows Vista
Adobe Acrobat	: Adobe® Acrobat®
ScanSnap	: カラーイメージスキャナ ScanSnap
Microsoft Office	: Microsoft® Office
Excel	: Microsoft® Office Excel
Outlook	: Microsoft® Office Outlook®
Outlook Express	: Microsoft® Outlook Express
Windows メール	: Windows® メール

目次



はじめに.....	2
■ 本書の読み方	4
第 1 章 名刺ファイリング OCR について	8
1.1 概要	9
1.2 特長	10
1.3 動作環境	11
■ コンピュータ本体.....	11
■ そのほかの必要な機器	11
1.4 起動と終了	12
■ 名刺ファイリング OCR の起動と終了	12
第 2 章 操作画面.....	13
2.1 メインウィンドウ	14
2.2 リボン	15
■ アプリケーションボタン.....	15
■ 「ホーム」タブ	16
■ 「認識」タブ	17
■ 「データ編集」タブ	18
■ 「イメージ操作」タブ	19
■ 「表示」タブ	20
第 3 章 操作のながれ	22
3.1 名刺ファイリング OCR の操作のながれ	23
3.2 データベース機能の操作のながれ	27

第 4 章 機能一覧	29
4.1 基本的な機能	30
■ 名刺の読み取り	30
■ 名刺の認識	30
■ 認識した文字の修正	30
■ 名刺データの操作と整理	31
■ 名刺データの検索	31
■ 名刺イメージの編集	31
■ ファイル添付	32
■ 名刺データの印刷	32
■ 名刺データの利用	32
4.2 高度な機能	33
■ 表示のカスタマイズ	33
■ そのほかのカスタマイズ	33
4.3 データベース機能	34
■ 名刺データベースの操作	34
第 5 章 ユーザー権限について	35
付録 A ヘルプの起動方法	36
■ メインウィンドウからヘルプを起動する	36
■ スタートボタンからヘルプを起動する	37
■ 画面上の [ヘルプ] ボタンでヘルプを起動する	37
付録 B インストール/アンインストール	38
■ インストール	38
■ アンインストール	38
索引	39

第1章



名刺ファイリング OCR について

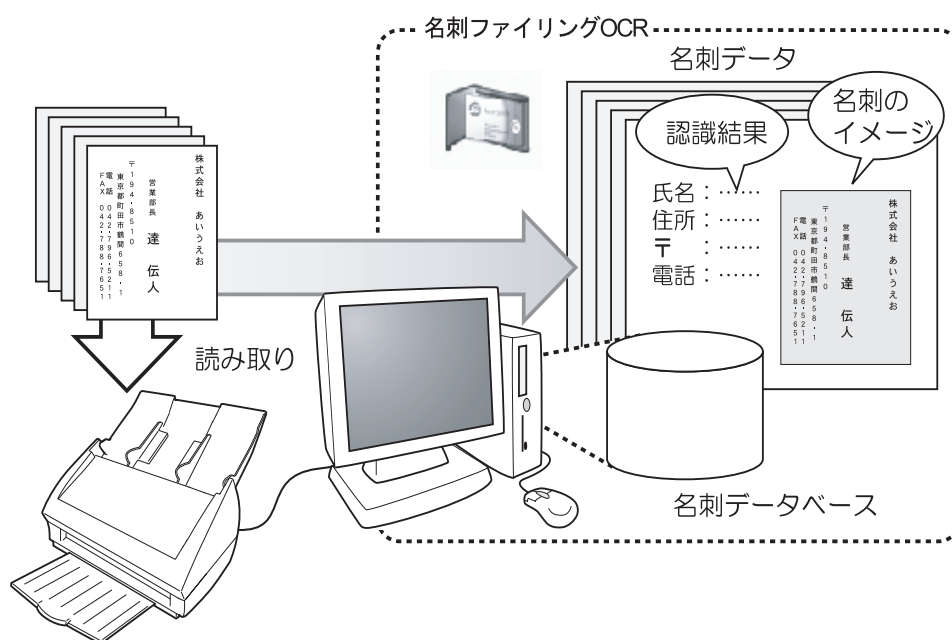
この章では、名刺ファイリング OCR の概要、特長、動作環境、および起動と終了方法について説明します。

1.1	概要	9
1.2	特長	10
1.3	動作環境	11
1.4	起動と終了	12

1.1 概要

名刺ファイリング OCR は、名刺をスキャナで読み取り、読み取ったイメージをデータ化し、そのデータに含まれる文字を認識（OCR: Optical Character Recognition）するソフトウェアです。

これらのデータをデータベース（名刺データベースと呼ぶ）として管理し、さまざまな用途で活用することが可能です。



名刺ファイリング OCR では、読み取った名刺のイメージデータを「名刺のイメージ」、文字を認識した結果の文字データを「認識結果」と呼んでいます。また、「名刺のイメージ」と「認識結果」を合わせて「名刺データ」と呼んでいます。

名刺ファイリング OCR では、フォルダを作って、名刺データを振り分けて管理することができます。会社名ごとに名刺データを分類したり、用途別に名刺データを管理するといった場合に便利です。

名刺データは、「名刺データベース」で管理します。名刺データベースは、使う人のニーズに応じて自由に個々に作成でき、複数のユーザーが共有できます。たとえば、「課長用」と「部長用」のように分けて、名刺データベースを作成することができます。

1.2 特長

名刺ファイリング OCRには、以下の特長があります。

- 名刺の文字を認識して、文字データにする。
- 英語の名刺を認識する。
- 名刺に書いたメモも、表面の情報と合わせて管理する。
- 名刺データを、ほかのアプリケーションや Palm（Palm 社製携帯情報端末）で利用する。
- 名刺データを、はがきやラベルに印刷する。
- 同じ人から入手した複数の名刺のデータを 1 か所にまとめる。
- 名刺に関連したファイルを名刺データに添付して、名刺とファイルとを一括管理する。
- メールアドレスを送信先に設定して、メールソフトを起動する。
- 名刺に書かれている文字（名前や会社名など）をキーワードにして、必要な名刺データを検索する。
- Web と連携して、会社のホームページや会社周辺の地図などの情報を検索する。
- 名刺データベースの作成、表示、パスワードの設定、バックアップ、および修復を行う。
- リムーバブルメディア（USB メモリや CD-R、DVD-R、MO など）にバックアップを作成したり、ネットワークドライブに保存して共有する。
- 名刺データから QR コードを生成して、携帯電話の電話帳に名刺情報を登録したり、名刺上の QR コードの情報を認識する。
- 名刺データのアドレス情報とほかのアプリケーションが持つアドレス情報（アドレス帳など）を連携させる。

1.3 動作環境

名刺ファイリング OCR は、以下のシステム条件で動作します。

■ コンピュータ本体

オペレーティングシステム (*1)	Windows 2000 Windows XP	Windows Vista
CPU (*2)	Intel® Pentium® III プロセッサ 600MHz 以上	Intel® Pentium® 4 プロセッサ 1.8GHz 以上
メモリ (*2)	256M バイト以上	512M バイト以上
ディスク容量	210M バイト以上の空き容量が必要 (*3)	

*1：最新の Service Pack を適用したオペレーティングシステムでを使用することを推奨します。

*2：スキャナの推奨環境の方が高い場合は、スキャナの推奨環境以上でのご利用をお勧めします。

*3：1 枚分の名刺データ（両面、カラー、スーパーファインの設定で読み取る場合）を格納するためには、500K バイトの空き容量が必要となります。

読み取る名刺の数に応じて必要となるディスク容量を見積もってください。

■ そのほかの必要な機器

名刺ファイリング OCR を使用する場合は、コンピュータ本体のほかに以下の機器が必要です。

- DVD-ROM ドライブ
- ScanSnap、および TWAIN 規格（スキャナなどの入力装置用 API）に準拠したスキャナ装置（名刺を読み取るために必要です。）



「ScanSnap」は、FUJITSU 製のコンパクトカラーレススキャナです。TWAIN 規格には対応していませんが、ボタン 1 つで、読み取ったイメージを手軽に PDF ファイルにすることができる新感覚スキャナです。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

→ <http://scansnap.fujitsu.com/jp/>

- キーボード
- マウス
- ディスプレイ



名刺ファイリング OCR は、1024 × 768 ピクセル以上の解像度の画面での使用をおすすめします。また、800 × 600 ピクセル以下の解像度の画面では、フォントサイズを大きくしたときに表示が崩れるなど、正常に表示されないことがあります。

1.4 起動と終了

名刺ファイリング OCR の起動方法と終了方法について説明します。

■ 名刺ファイリング OCR の起動と終了

名刺ファイリング OCR の起動と終了の手順をそれぞれ以下に示します。

名刺ファイリング OCR の起動

名刺ファイリング OCR の起動手順は、以下のとおりです。

1. 「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「名刺ファイリング OCR」 → 「名刺ファイリング OCR」の順に選択します。

⇒ 名刺ファイリング OCR が起動します。



デスクトップ上のショートカット () をダブルクリックして起動することもできます。

名刺ファイリング OCR の終了

名刺ファイリング OCR の終了手順は、以下のとおりです。


1. 「アプリケーションボタン」 () をクリックします。

⇒ アプリケーションメニューが表示されます。

2. アプリケーションメニューの [終了] ボタンをクリックします。

⇒ 名刺ファイリング OCR が終了します。



タイトルバーの [閉じる] ボタン () をクリックして終了することもできます。

第2章



操作画面

この章では、名刺ファイリング OCR の画面および各項目について説明します。
名刺ファイリング OCR のウィンドウは、読み取った名刺のデータを確認したり管理するためのいくつかのサブウィンドウから構成されるメインウィンドウと、名刺ファイリング OCR を操作するためのボタンを集めたメニュー（リボンといいます）で構成されています。
ここで説明する画面や各項目のより詳しい説明や、操作中に表示される画面についての詳細は、ヘルプを参照してください。

2.1	メインウィンドウ.....	14
-----	---------------	----

2.2	リボン	15
-----	-----------	----

2.1 メインウィンドウ

ここでは、メインウィンドウを構成する各部の機能を説明します。

アプリケーションボタン
アプリケーションメニューを表示します。名刺データベースの操作や名刺イメージの印刷、チュートリアル参照、名刺ファイリングOCRのオプション設定や終了などができます。
最近使用したデータベースや名刺データも表示されます。

リボン
名刺ファイリングOCRを操作するためのボタンを集めたメニューです。

データ一覧ウィンドウ
フォルダー一覧ウィンドウで選択されているフォルダ内の名刺データの一覧です。

フォルダー一覧ウィンドウ
名刺データを管理するためのフォルダが表示されます。管理しやすいように新しいフォルダを作成できます。

名前絞り込みタブ
表示される名刺データを、氏名の頭文字で絞り込みます。

簡易検索ツールバー
名刺データベースの名刺データを、検索条件を指定して検索できます。

クイックアクセスツールバー
任意のボタンを登録できるツールバーです。よく使うボタンを登録しておく便利です。

氏名	会社名	〒	住所
阿井 植雄	日本ABCD株式会社	212-8563	
石川 太郎	株式会社Way	929-1192	
柿くみ子	株式会社あいうえを	171-0033	東京都豊島区
笠島 果歩	株式会社あいうえを		
高岡 太郎	株式会社Way		
遠 伝人			

履歴ウィンドウ
名刺データの履歴を閲覧できます。

ミニツールバー
名刺イメージウィンドウ内で、マウスポインタの近くに表示されるフローティングツールバーです。

データ編集ウィンドウ
データ一覧ウィンドウで選択されている名刺データの情報が表示されます。名刺データが確定されていない場合は、この情報を修正できます。

添付ファイルウィンドウ
選択されている名刺データに添付されたファイルをアイコン表示します。添付ファイルの追加や削除、名前の変更ができます。

ステータスバー
選択されている名刺データに関する情報（名刺データの選択数、フォルダ内のイメージの総数と現在の名刺データの番号、現在のフォルダ名、認識言語の種類）が表示されます。データ一覧ウィンドウのイメージの表示方法を切り替えたり、イメージ倍率を変更できます。

名刺イメージウィンドウ
データ一覧ウィンドウで選択されている名刺データの画像が表示されます。



リボンの下に表示されているサブウィンドウのうち、フォルダー一覧ウィンドウと名刺イメージウィンドウ、データ編集ウィンドウは、メインウィンドウから切り離してディスプレイ上の任意の位置に配置したり、非表示にできます。詳しくはヘルプを参照してください。






2.2 リボン

名刺ファイリング OCR のメインウィンドウ上部には、さまざまな操作を実行するためのボタンが集められたリボンがあります。

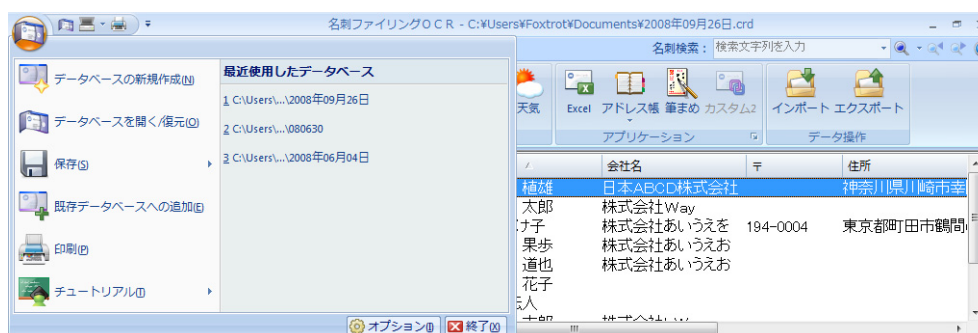
リボンは、操作の種類ごとにタブに分類されており、タブをクリックして切り替えることで、限られた領域に多くのボタンを表示できるようになっています。また、それぞれのタブの中では、ボタンがいくつかのグループに分けて表示されます。

リボンを構成するタブと、それぞれのタブに含まれているボタンの機能を説明します。



- リボンのボタンに  が表示されているときは、その  をクリックするとサブメニューが表示されます。サブメニューでは、そのボタンに割り当てる機能を選択します。
- 各タブのグループに  が表示されているときは、その  をクリックするとグループに関する設定ができます。たとえば、「ホーム」タブの「新規登録」グループの  をクリックすると、「スキャナ動作環境」画面が表示され、スキャナでの読み取り条件を指定できます。

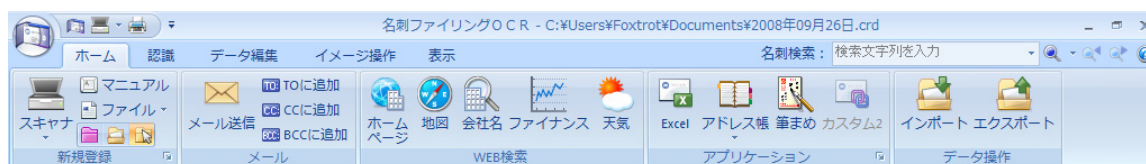
■ アプリケーションボタン






- データベースの新規作成**
名刺ファイリング OCR の新しいデータベースファイルを作成します。
- データベースを開く / 復元**
名刺ファイリング OCR のデータベースファイルを開きます。
- 保存**
名刺イメージや、名刺ファイリング OCR の新しいデータベースファイルを保存します。
- 既存データベースへの追加**
現在開いている名刺データを、既存の名刺ファイリング OCR のデータベースに追加します。
- 印刷**
名刺データを印刷します。

- **チュートリアル**
スキャナの設定における注意事項や、名刺ファイリング OCR の操作ガイドを表示します。
- **最近追加・修正したデータベース**
過去に名刺ファイリング OCR で開いたデータベースの履歴が表示されます。

■ 「ホーム」 タブ



「新規登録」グループ

- **スキャナ**
スキャナでの読み取りを開始します。
- **マニュアル**
イメージなしの名刺データを作成します。
- **ファイル**
任意の画像ファイルを名刺データとして追加します。
- **登録先フォルダ選択ボタン**
読み取った名刺データの登録先を、 (未振り分けフォルダ)、 (現在開いているフォルダ)、 (毎回選択) のいずれかに切り替えることができます。

「メール」グループ

- **メール送信**
選択されている名刺データの電子メールアドレスをあて先にしたメール作成画面を開きます。
- **TOに追加 / CCに追加 / BCCに追加**
選択されている名刺データの電子メールアドレスをあて先にしたメール作成画面を開きます。[メール送信] をクリックしたときと異なり、メール作成画面が開く前に、あて先の種類 (TO、CC、BCC) を指定できます。

「WEB 検索」グループ

- **ホームページ**
選択されている名刺データのホームページアドレスをインターネットブラウザで表示します。
- **地図**
選択されている名刺データの郵便番号を使って Yahoo! 地図から必要な情報を検索します。
- **会社名**
選択されている名刺データの会社名を使って Yahoo! 検索をします。

- **ファイナンス**
選択されている名刺データの会社名を使って Yahoo! ファイナンスから必要な情報を検索します。
- **天気**
選択されている名刺データの郵便番号を使って Yahoo! 天気から必要な情報を検索します。

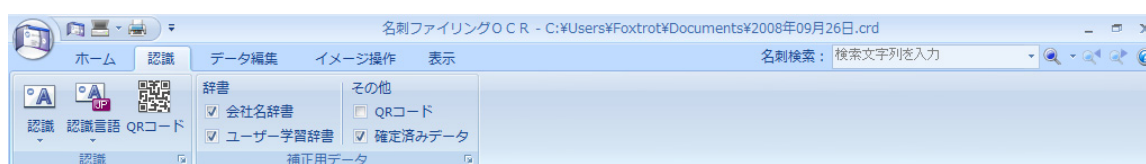
「アプリケーション」グループ

- **Excel**
名刺データを、Excel 形式のファイル（拡張子 .xls）に出力します。
- **アドレス帳**
名刺データを、Outlook Express または Windows メール、Outlook、InterConnect のアドレス帳に出力します。
- **カスタム 1/2**
名刺データを、あらかじめ指定したアプリケーションの形式のファイルに出力します。

「データ操作」グループ

- **インポート**
さまざまな形式のファイルを取り込み、名刺データに追加します。
- **エクスポート**
名刺データを、さまざまな形式のファイルに出力します。

■ 「認識」タブ



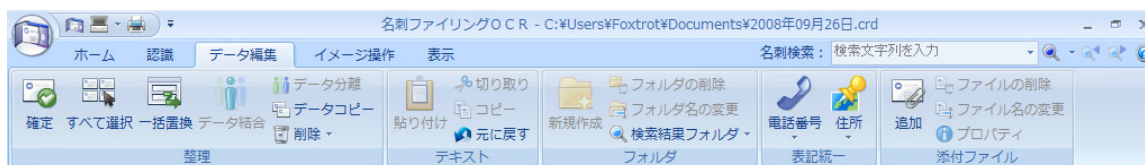
「認識」グループ

- **認識**
読み取った名刺イメージからデータの認識を実行します。
- **認識言語**
認識言語を切り替えます。
- **QR コード**
名刺イメージ上の QR コードの認識を実行します。

「補正用データ」グループ

- **辞書 / その他**
認識結果の補正に使用する補正用データを指定します。使用する補正用データのチェックボックスをオンにします。

■ 「データ編集」 タブ



「整理」グループ

- **確定**
認識結果を確定します。確定された名刺データに対してこのボタンをクリックすると、確定が解除されます。
- **すべて選択**
現在のフォルダ内のすべての名刺データを選択します。
- **一括置換**
選択されている名刺データのうち、指定した項目を一括して置換します。
- **データ結合**
選択されている複数の名刺データを結合して1つの名刺データにします。
- **データ分離**
結合された名刺データを分離します。
- **データコピー**
名刺データをコピーします。
- **削除**
名刺データ（名刺イメージを含む）を削除します。認識結果のクリアもできます。

「テキスト」グループ

- **貼り付け**
コピーされたテキストを、データ編集ウィンドウの入力欄に貼り付けます。
- **切り取り**
データ編集ウィンドウの入力欄のテキストを切り取ります。
- **コピー**
データ編集ウィンドウの入力欄のテキストをコピーします。
- **元に戻す**
データ編集ウィンドウのテキストで直前に行った編集操作を取り消します。

「フォルダ」グループ

- **新規作成**
新しいフォルダを作成します。
- **フォルダの削除**
フォルダを削除します。
- **フォルダ名の変更**
フォルダの名前を変更します。

- **検索結果フォルダ**
名刺データを検索結果フォルダに追加したり、検索結果フォルダから取り除きます。

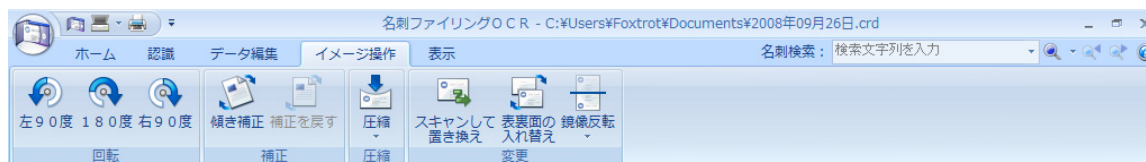
「表記統一」グループ

- **電話番号**
名刺データの電話番号の表記方法（ハイフンつなぎ、カッコ+ハイフン）を指定し、一括して変更します。
- **住所**
名刺データの住所の表記方法（数字、数字+ハイフン、郵便番号を7桁に統一）を指定し、一括して変更します。

「添付ファイル」グループ

- **追加**
ファイルを指定して、選択されている名刺データに添付します。
- **ファイルの削除**
名刺データの添付ファイルを削除します。
- **ファイル名の変更**
名刺データの添付ファイルの名前を変更します。
- **プロパティ**
名刺データの添付ファイルのプロパティを表示します。

■ 「イメージ操作」タブ



「回転」グループ

- **左 90 度 / 180 度 / 右 90 度**
名刺イメージを回転します。

「補正」グループ

- **傾き補正**
傾いている名刺イメージを正しい向きに補正します。
- **補正を戻す**
傾きを補正した名刺イメージを、補正前の向きに戻します。

「圧縮」グループ

- **圧縮**
名刺イメージがカラー画像の場合に、イメージを圧縮します。

「変更」グループ

- スキャンして置き換え
別の名刺を読み取って、選択されている名刺イメージに置き換えます。
- 表裏面の入れ替え
選択されている名刺イメージの表面と裏面を入れ替えます。
- 鏡像反転
選択されている名刺を、水平方向または垂直方向に反転させます。

■ 「表示」タブ



「表示 / 非表示」グループ

- 表示 / 非表示
各ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。


「データ一覧」グループ

ボタンをクリックして、データ一覧ウィンドウの表示方法を変更します。

- データ一覧ウィンドウの縮小イメージの方法を、 (縮小イメージなし)、 (小サイズ)、 (中サイズ)、 (大サイズ) のいずれかに切り替えることができます。
- データ一覧ウィンドウの縮小イメージに表示する面を、 (表) または (裏) のどちらかに切り替えることができます。
- データ一覧ウィンドウの絞り込み方法を、 (人名) または (会社名) のどちらかに切り替えることができます。

「名刺イメージ」グループ

- ズーム
イメージの表示倍率を変更します。
- イメージ情報
選択されている名刺データのイメージの情報を表示します。
- 表示切り替えボタン
名刺イメージウィンドウのイメージの表示面を (表面) または (裏面) のどちらかに切り替えたり、表示の大きさを (領域に合わせる)、 (高さに合わせる) または (幅に合わせる) のいずれかに切り替えます。
- (項目矩形枠の表示) ボタン
名刺イメージウィンドウのイメージ上の項目矩形枠の表示 / 非表示を切り替えます。

-  (マウススクロールモード) ボタン
名刺イメージウィンドウのイメージのマウスによるスクロールを有効または無効にします。

「データ編集」グループ

- **確認画面表示設定**
認識結果確認ウィンドウの表示方法を指定します。
- **確認画面表示位置**
認識結果確認ウィンドウの表示位置を指定します。

「QRコード」グループ

- **QRコード表示**
名刺データの認識結果をQRコードに変換して表示します。

「レイアウト」グループ

- **レイアウト切り替え**
メインウィンドウの画面レイアウトをバージョン 2.2 以前のレイアウトに切り替えたり、[レイアウト切り替え] ボタンをクリックする前のレイアウトに戻したりします。バージョン 2.2 以前のレイアウトでは、データ編集ウィンドウと名刺イメージウィンドウが大きく表示されます。
- **保存**
メインウィンドウ上の各サブウィンドウの現在のレイアウトやサイズを保存します。
- **復元**
メインウィンドウ上の各サブウィンドウの現在のレイアウトやサイズを、最後に保存したときの設定に戻します。
- **初期配置**
メインウィンドウ上の各サブウィンドウのレイアウトやサイズを、初期設定に戻します。

第 3 章



操作のながれ

この章では、名刺ファイリング OCR の基本的な使い方について、起動から名刺の読み取り、データとして保存して利用するまでの一連の流れを説明します。

この章に記載されているながれに沿って操作すると、名刺ファイリング OCR の基本的な機能が理解できます。

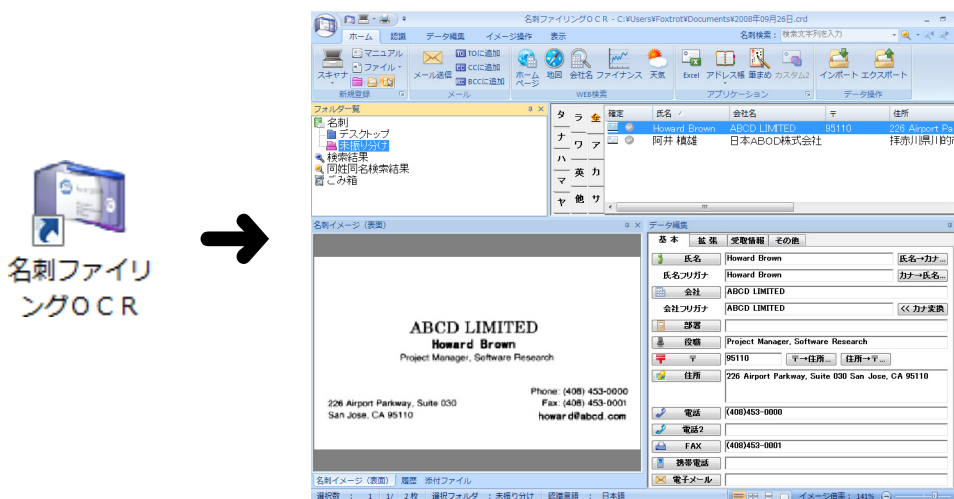
3.1	名刺ファイリング OCR の操作のながれ	23
-----	----------------------------	----

3.2	データベース機能の操作のながれ	27
-----	-----------------------	----

3.1 名刺ファイリング OCR の操作のながれ

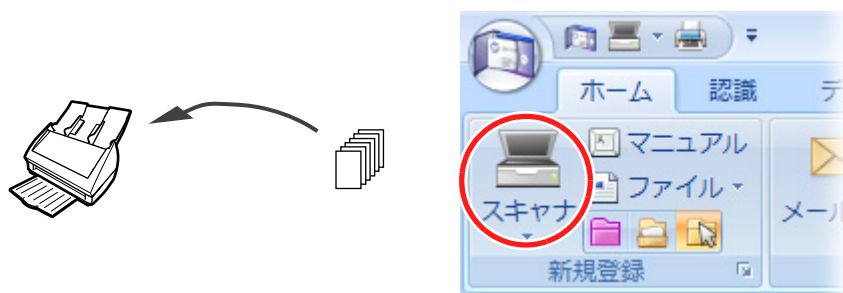
1. 名刺ファイリング OCR を起動します。

デスクトップにある「名刺ファイリング OCR」アイコンをダブルクリックすると、名刺ファイリング OCR が起動します。



2. 名刺をスキャナで読み取ります。

「ホーム」タブの [スキャナ] ボタンをクリックすると、名刺の読み取りが開始されます。



読み取りが終わると、名刺に印刷されている名前や住所などの文字情報が自動的に文字として認識され、データ編集ウィンドウに入力されます。

3. 名刺データを確認します。

認識結果確認ウィンドウを見ながら、名刺イメージ上の文字がデータ編集ウィンドウに正しく入力されているかどうかを確認します。



認識結果確認ウィンドウ

4. 名刺データを修正します。

誤って文字が認識された場合は、名刺データを再認識させるか、項目ごとに直接入力し直します。「住所一覧」機能などを使って修正することもできます。



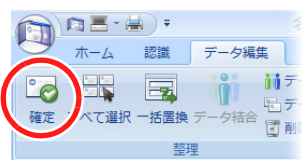
リボンの「認識」タブの「認識」ボタンをクリックすると、読み取った名刺イメージから文字を再認識できます。

または、データ編集ウィンドウの各入力欄をキーボードで直接入力して修正します。



5. 名刺データを確定します。

「データ編集」タブの「確定」ボタンをクリックすると、名刺データがロックされるため、データ編集ウィンドウの内容を誤って修正するのを防ぐことができます。名刺データは、あとで修正し直したくなったときにいつでも確定を解除できます。



リボンの「データ編集」タブの「確定」ボタンをクリックすると、名刺データが確定します。

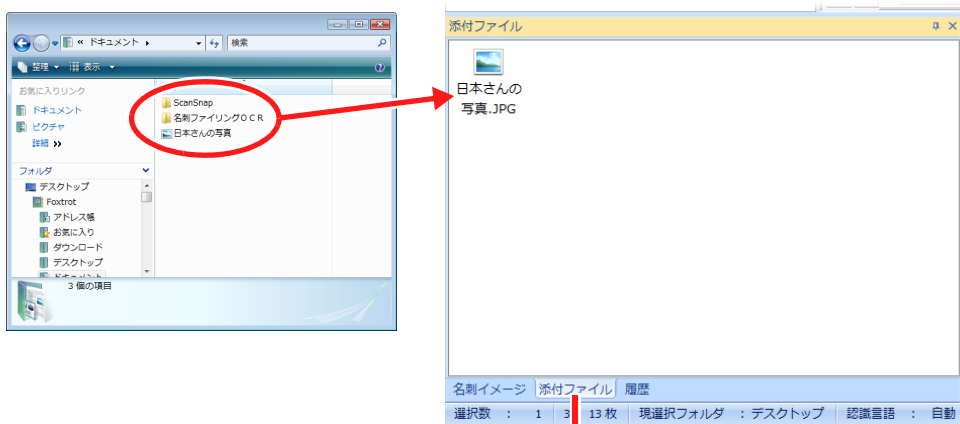
名刺データが確定しているかどうかは、データ一覧ウィンドウに示されます。

マ	全	確定	氏名	会社名	〒	住所
		<input checked="" type="checkbox"/>	Howard Brown	ABCD LIMITED	95110	226 Airport Parkw
ヤ	ア	<input checked="" type="checkbox"/>	石川 太郎	株式会社あいうえお	100-0005	東京都千代田区
ラ	カ	<input checked="" type="checkbox"/>	日本 一郎	日本ABCD株式会社	100-00	東京都千代田区
ワ	サ	<input checked="" type="checkbox"/>	阿井 植雄	日本ABCD株式会社	212-8583	神奈川県川崎市
タ	シ	<input checked="" type="checkbox"/>	石川 太郎	株式会社あいうえお	100-0005	東京都千代田区
英	ナ	<input checked="" type="checkbox"/>	柿くけ子	株式会社あいうえお	194-8510	東京都町田市鶴
他	ハ	<input checked="" type="checkbox"/>	笠島 果歩	株式会社あいうえお	194-8510	東京都町田市鶴
		<input checked="" type="checkbox"/>	宮本 道也	株式会社あいうえお	929-1198	石川県かほく市宇

確定した名刺データのチェックマークが緑色で表示されます。

6. 名刺に関連するファイルがある場合は、名刺データに添付します。

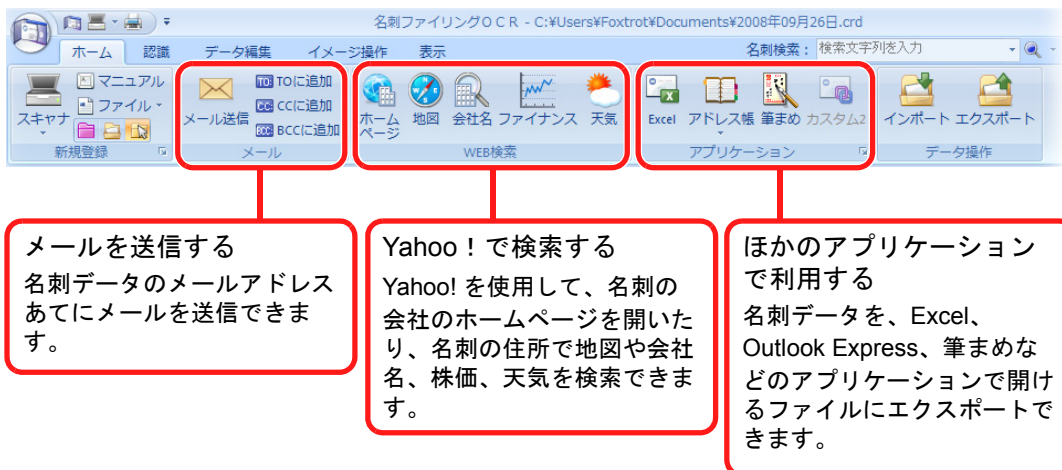
Windows エクスプローラからファイルを名刺イメージウィンドウにドラッグすると、ファイルを名刺イメージに添付できます。



エクスプローラからドラッグ & ドロップでファイルを追加するときは、名刺イメージウィンドウの「添付ファイル」タブをクリックします。

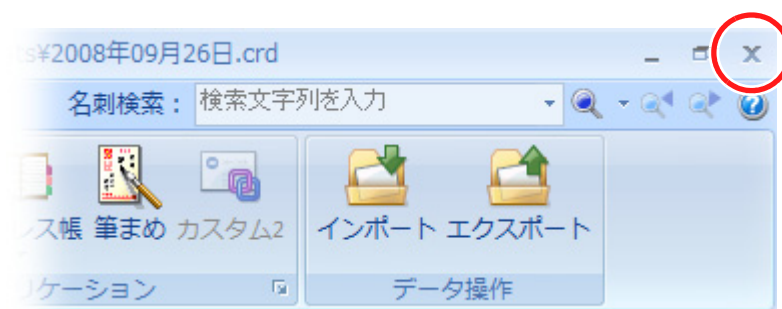
7. 名刺データを利用します。

「ホーム」タブの以下のグループのボタンをクリックすることで、名刺データをいろいろなアプリケーションで利用できます。



8. 名刺ファイリング OCR を終了します。

メインウィンドウの **x** をクリックすると、名刺ファイリング OCR が終了します。




3.2 データベース機能の操作のながれ

初めて名刺ファイリング OCR を起動したときに、名刺データベースが作成されます。名刺データベースには、読み取った名刺データが順次追加されます。


名刺ファイリング OCR では一度にひとつだけ名刺データベースを開くことができます。現在開いている名刺データベースの場所と名前が、メインウィンドウのタイトルバーに表示されます。

名刺ファイリング OCR を使い始めてから行う名刺データベースの操作は、以下の流れになります。


1. 複数の名刺データベースを使い分けたいときは、名刺データベースを新規に作成します。

「アプリケーションボタン」() をクリックしてアプリケーションメニューを表示してから、「データベースの新規作成」をクリックすると、名刺データベースを保存するための画面が表示されます。名刺データベースの保存先やファイル名などを指定して [保存] をクリックします。

2. 名刺データベースのバックアップを取るときは、名刺データベースを名前を付けて保存します。

「アプリケーションボタン」() をクリックしてアプリケーションメニューを表示してから、「保存」→「データベースのバックアップ」をクリックすると、名刺データベースを保存するための画面が表示されます。名刺データベースの保存先やファイル名などを指定して [保存] をクリックします。

3. 別の名刺データベースに切り替えるときは、使用したい名刺データベースを開きます。

「アプリケーションボタン」() をクリックしてアプリケーションメニューを表示してから、「データベースを開く / 復元」をクリックすると、名刺データベースを開くための画面が表示されます。名刺データベースの保存先やファイル名を指定して [開く] をクリックします。



- パスワード操作ツールを使って名刺データベースにパスワードを設定できます。パスワードを設定した場合、その名刺データベースを開くときにパスワードを入力する画面が表示されます (パスワードを付けなかった名刺データベースの場合は、パスワードを入力する画面は表示されません)。詳しくはヘルプを参照してください。
- 名刺データベースが壊れた場合に使用する修復ツールが、名刺ファイリング OCR といっしょにインストールされています。修復ツールについて詳しくは、ヘルプを参照してください。

第4章



機能一覧

この章では、名刺ファイリング OCR の機能について説明します。
それぞれの機能の使い方については、ヘルプの「名刺ファイリング OCR の機能一覧」を参照してください。

4.1	基本的な機能	30
4.2	高度な機能	33
4.3	データベース機能	34

4.1 基本的な機能

名刺ファイリング OCR の基本的な機能について以下に説明します。

■ 名刺の読み取り

スキャナを使用して名刺をイメージとして読み取ることができます。スキャナの読み取り方法（ADF、フラットベッド、両面 / 片面）に応じて名刺の読み取り方法を指定できます。ScanSnap 以外のスキャナでも、TWAIN 対応のスキャナであれば読み取りができます。また、以下のように名刺を読み取ることができます。

- 正しく読み取れなかった名刺データを、新しく読み取った名刺データに置き換える
- 保存したファイルから名刺のイメージを読み取る

■ 名刺の認識

初期設定では、名刺を読み取った直後に自動的に名刺イメージに含まれている文字の認識が行われます。

このほかに、認識に関する以下の機能があります。

- 認識時に住所、郵便番号、電話番号の表記を統一する
- QR コードを認識する
- 認識の精度を上げる



認識された文字をユーザー文字パターンとして登録したり、会社名辞書を使用することで、認識の精度を上げることができます。

■ 認識した文字の修正

誤って認識された文字は、正しい文字をキーボードで直接入力して修正できます。文字修正を簡単に行えるように、以下の機能が用意されています。

- 認識されたデータを元に文字を入力する



認識されたデータを元に、以下のように文字を自動的に入力できます。

- 氏名フリガナから氏名を入力する
- 氏名から氏名フリガナを入力する
- 郵便番号から住所を入力する
- 住所から郵便番号を入力する
- 会社名から会社フリガナを入力する

- 郵便番号、住所、電話番号の表記を変更する

■ 名刺データの操作と整理

認識によって得られた名刺データに対してさまざまな操作をしたり、フォルダを作成して名刺データを整理できます。

- 名刺データを新規に作成する
- 名刺データをコピーする
- 名刺データをまとめる / 過去の名刺データを表示する / まとめた名刺データを分ける
- 名刺データの並び順を変更する
- 表示する名刺データを絞り込む
- 名刺データをほかのフォルダに移動する
- 名刺データを削除する
- フォルダを作成して名刺データを入れる
- フォルダを移動・削除する
- フォルダ名を変更する
- 名刺データから QR コードを生成する

■ 名刺データの検索

条件を指定して必要な名刺データを検索できます。

- 名刺の情報で検索する
- 同姓同名の名刺データを検索する
- Yahoo! を使用して情報を検索する
- 名刺ファイリング OCR を起動せずに、名刺データを検索する
- 名刺データの検索結果を削除する

■ 名刺イメージの編集

読み取った名刺イメージを編集する以下の機能があります。

- イメージを保存・コピー・削除する
- イメージの傾きを修正する
- イメージを圧縮する
- イメージの表面と裏面を入れ替える
- イメージを鏡像反転する
- イメージを回転する

■ ファイル添付

名刺データには任意のファイルを添付できます。

- 名刺データにファイルを添付する
- 添付したファイルを表示・修正する
- 添付したファイルをエクスプローラ上にコピーする
- 添付したファイルを削除する

■ 名刺データの印刷

名刺データの内容を以下の形式で印刷できます。

- 名刺データをリスト形式で印刷する
- 名刺のイメージを印刷する
- 名刺データをラベルに印刷する
- 名刺データをハガキに印刷する

■ 名刺データの利用

名刺データを利用してメールを送信したり、ほかのアプリケーションにデータを移行できます。

- 名刺データのメールアドレスをあて先にしてメールを送信する
- Excel で利用する
- Outlook で利用する
- Windows メール（または Outlook Express）で利用する
- Microsoft® Office InterConnect で利用する
- 筆まめで利用する
- ほかのアプリケーションのデータを取り込む（インポート）
- 名刺データを出力する（エクスポート）

4.2 高度な機能

名刺ファイリング OCR 機能そのものをより有効に活用するための機能を、以下に説明します。

■ 表示のカスタマイズ

名刺ファイリング OCR のメインウィンドウ上の表示を以下のようにカスタマイズできます。

- データ一覧ウィンドウの表示を切り替える
- 名前絞り込みタブの絞り込みの対象を変更する
- 各サブウィンドウの表示 / 非表示を切り替える
- 各サブウィンドウの表示位置を変更する
- 各サブウィンドウのレイアウトを初期配置に戻す
- リボンを最小化する
- ステータスバーの表示 / 非表示を切り替える
- イメージ表示の大きさを変更する
- イメージの表示面を変更する
- 詳細表示する項目を追加・削除する
- 詳細表示する項目の順序を変更する
- 縮小イメージ表示のイメージの大きさ・表示面を変更する
- 認識結果確認ウィンドウの表示方法を変更する

■ そのほかのカスタマイズ

以下の機能があります。

- 操作ガイドを表示しないようにする
- オンラインアップデートする

4.3 データベース機能

名刺ファイリング OCR で作成された名刺データベースの機能を、以下に説明します。

■ 名刺データベースの操作

名刺ファイリング OCR で読み取った名刺データは、データベースとしてコンピュータに保存されます。このデータベースを扱う以下の機能があります。

- 名刺データベースを新しく作成する
- 名刺データベースのバックアップを取る
- 名刺データベースをコピーしてリムーバブルメディア（USB メモリや CD-R、DVD-R、MO など）に保存する
- 作成した名刺データベースを別のコンピュータで使う
- 名刺データベースのパスワード設定を変更する
- 名刺データベースを修復する

第 5 章



ユーザー権限について

この章では、名刺ファイリング OCR を使用する場合のユーザー権限について説明します。

- Windows 2000、Windows XP Professional の場合
標準ユーザー（Power Users グループ）以上の権限でログオンしてご使用ください。
- Windows XP Home Edition の場合
コンピュータの管理者の権限でログオンしてご使用ください。
- Windows Vista の場合
標準ユーザー以上の権限でログオンしてご使用ください。

付録 A

ヘルプの起動方法

名刺ファイリング OCR のヘルプの起動方法は 3 つあります。

■ メインウィンドウからヘルプを起動する

名刺ファイリング OCR の使用中にヘルプを起動するには、キーボードの「F1」キーを押すか、検索ツールバーのとなりにあるヘルプボタン (🔍) をクリックします。



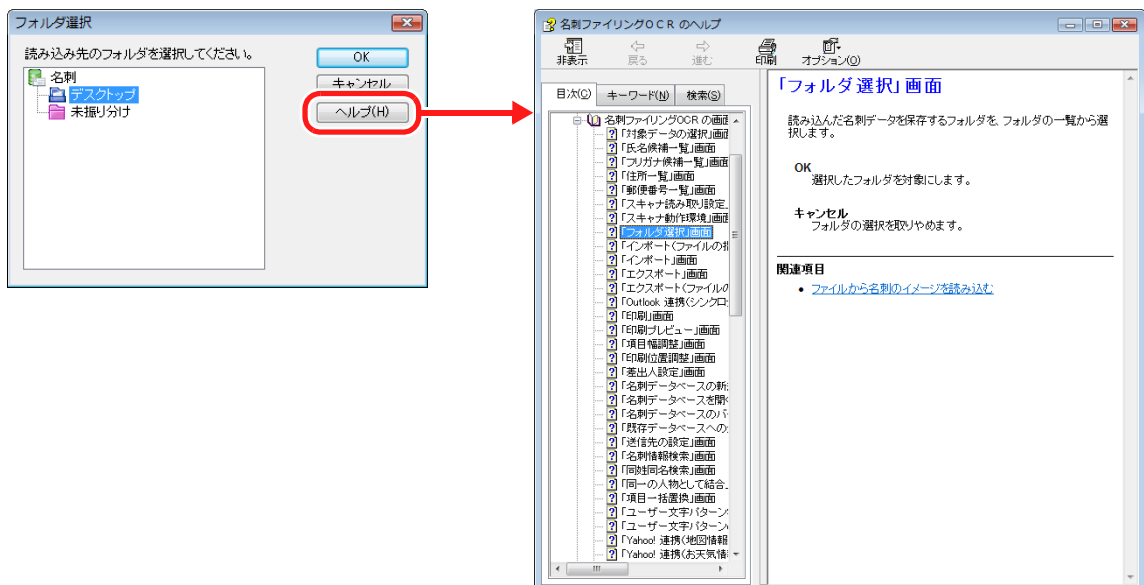
■ スタートボタンからヘルプを起動する

名刺ファイリング OCR を使用していないときにヘルプを起動するには、Windows のタスクバーのスタートボタンをクリックしてから、「すべてのプログラム」→「名刺ファイリング OCR」→「ヘルプ」の順に選択します。



■ 画面上の [ヘルプ] ボタンでヘルプを起動する

名刺ファイリング OCR の使用中に表示される画面に [ヘルプ] ボタンがあるときは、クリックしてヘルプを起動できます。この場合は、表示中の画面について説明するトピックが表示されます。キーボードの「F1」キーを押して表示することもできます。



付録 B



インストール / アンインストール

名刺ファイリング OCR のインストールおよびアンインストール方法について説明します。

■ インストール

インストール方法については、ScanSnap スタートアップガイドの「ソフトウェアのインストール」を参照してください。

■ アンインストール

アンインストール方法については、ScanSnap オペレーターガイドの「付録」の「ソフトウェアのアンインストール」を参照してください。

索引

O	
OCR	9

Q	
「QRコード」グループ	21

W	
「WEB 検索」グループ	16

あ行	
「圧縮」グループ	19
「アプリケーション」グループ	17
アプリケーションボタン	14
アンインストール	38
「イメージ操作」タブ	19
インストール	38

か行	
「回転」グループ	19
簡易検索ツールバー	14
基本的な機能	30
クイックアクセスツールバー	14
高度な機能	33

さ行	
「新規登録」グループ	16
ステータスバー	14
「整理」グループ	18
操作のながれ	23

た行	
データ一覧ウィンドウ	14
「データ一覧」グループ	20
「データ操作」グループ	17
データ編集ウィンドウ	14
「データ編集」グループ	21
「データ編集」タブ	18
「テキスト」グループ	18
添付ファイルウィンドウ	14
「添付ファイル」グループ	19
動作環境	11
特長	10

な行	
名前絞り込みタブ	14
「認識」グループ	17
認識結果	9
「認識」タブ	17

は行	
「表記統一」グループ	19
「表示」タブ	20
「表示 / 非表示」グループ	20
フォルダー一覧ウィンドウ	14
「フォルダ」グループ	18
ヘルプの起動方法	36
「変更」グループ	20
「ホーム」タブ	16
「補正」グループ	19
「補正用データ」グループ	17

ま行

ミニツールバー.....	14
名刺イメージウィンドウ	14
「名刺イメージ」グループ.....	20
名刺データ	9
名刺データベース	9
名刺のイメージ.....	9
名刺ファイリング OCR について	8
名刺ファイリング OCR の特長	10
メインウィンドウ	14
「メール」グループ.....	16

ら行

リボン.....	14, 15
履歴ウィンドウ.....	14
「レイアウト」グループ.....	21

名刺ファイリング OCR

ユーザーズガイド

P2WW-2660-01Z0

発行日 2008 年 12 月

発行責任 株式会社 PFU

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
- 無断転載を禁じます。